

同用卓子	二
大型書棚	二
硝子書棚	二
小型書棚	四
藤椅子セット	九
卓子	二
小卓子	七
額類	個
湯沸場備品類	個
時計	三
合計	三、九〇三、三〇〇
合	五五、一三五、八〇〇

設立事情及經過

日本労働會館建設運動の動機

日本労働會館建設運動は、昭和三年四月、關東労働同盟會第六回大會の決議に基き、同年八月十八日、日本労働會館建設委員會が組織されて以來、組合員諸君の不斷の努力に依つて續行されて來ました。この運動の起された動機は、今更改めて茲に述べる必要もありません。我國労働組合運動の缺陷として數へらるゝものは幾多あるのであるが、中にも、労働者の實際生活に根ざし、相愛扶助の精神を養ひ、人間的教養を高めるところの、建設的職能を輕んずることが、最も大なるものであると思ひます。故に我關東労働同盟會は、健實なる労働組合運動を徹底し、これを展開せしむるの第一歩として、これら建設的職能を發達せしむる基礎たる労働會館の建設を志したのであります。始め建設委員會の計畫としては、十八萬圓の寄附金を募り、五萬圓を以つて土地を買収し、十二萬圓を以つて會館を建設し、一萬圓を以つて設備を整へ、この寄附金中、八萬圓は組合員より、十萬圓は一般理解者より募集する豫定でありました。

土地及建物の買収

然るに、爾後、世界的不況は益々深刻化し、工場閉鎖、事業縮少、失業、貸銀引下等相次いで起り、労働階級は未曾有の苦難に當面し、各加盟組合も、幾多の犠牲を要求せられましたので、労働會館建設運動も、豫期の如き成績を収むることが困難となつたのであります。

然しながら、遅々たるものではあるけれども、止まる時なく進行し、昭和五年十月に至り、唯一館の土地及建物を四萬圓を以つて買収いたしました。土地總坪數約多百五拾壹坪、建物延建坪約貳百貳拾坪であります。

修繕工事完成及財團法人認可

斯くて昭和五年九月二日、第五回建設委員會は、産業界及労働状態の現狀に鑑み、日本労働會館建設運動を二期に分ち、第一期に於て土地の買収建物の改築完成、第二期に於て當初の計畫を實現することに決定し、取敢へず五千圓内外を